

文字種を変更する

- ① あa1 をタップするごとに、「ひらがな漢字」→「英字」→「数字」の順に文字種が切り替わります。あa1 のときには、日本語を入力できます。



- ② a のときには、半角英字を入力できます。a をタップします。

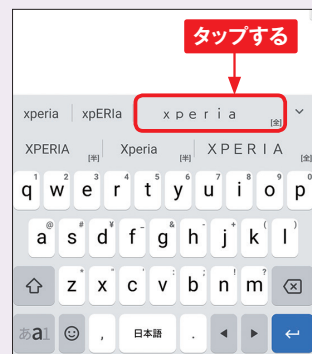


- ③ 1 のときには、半角数字を入力できます。再度 あa1 をタップすると、日本語入力に戻ります。



MEMO 全角英数字の入力

[全] と書かれている変換候補をタップすると、全角の英数字で入力されます。



絵文字や顔文字を入力する

- ① 絵文字や顔文字を入力したい場合は、絵記をタップします。



- ② 「絵文字」の表示欄を上下にスライドし、目的の絵文字をタップすると入力できます。



- ③ 顔文字を入力したい場合は、キーボード下部の絵記をタップします。あとは手順②と同様の方法で入力できます。記号を入力したい場合は、☆をタップします。



- ④ <あいう> をタップします。

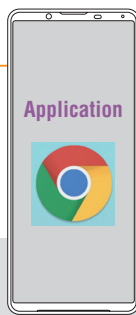


- ⑤ 通常の文字入力画面に戻ります。



複数のWebページを同時に開く

「Chrome」アプリでは、複数のWebページをタブを切り替えて同時に開くことができます。複数のページを交互に参照したいときや、常に表示しておきたいページがあるときに利用すると便利です。



Webページを新しいタブで開く

- 「アドレスバー」を表示して (P.64 参照)、**⋮** をタップします。



- <新しいタブ> をタップします。



- 新しいタブが表示されます。



MEMO タブのグループ化とは

「Chrome」アプリでは、複数のタブを1つにグループ化してまとめて管理するタブグループ機能が利用できます (P.68～69参照)。ニュースサイトごと、SNSごとというように、サイトごとにタブをまとめるなど、便利に使える機能です。



複数のタブを切り替える

- 複数のタブを開いた状態でタブ切り替えアイコンをタップします。



- 現在開いているタブの一覧が表示されるので、上下にスライドして表示したいタブをタップします。



- 表示するタブが切り替わります。



MEMO タブを閉じるには

不要なタブを閉じたいときは、手順②の画面で、右上の×をタップします。なお、最後に残ったタブを閉じると、「Chrome」アプリが終了します。



目的地までのルートを検索する

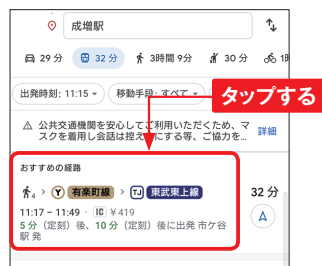
- ① P.103手順④の画面で＜経路＞をタップし、移動手段（ここでは🚶）をタップして、＜目的地を入力＞をタップします。出発地を現在地から変えたい場合は、＜現在地＞をタップして変更します。



- ② 目的地を入力し、検索結果の候補から目的の場所をタップします。



- ③ ルートが一覧表示されます。利用したい経路をタップします。



- ④ 目的地までのルートが地図で表示されます。画面下部を上方向へフリックします。



- ⑤ ルートの詳細が表示されます。下方向へフリックすると、手順④の画面に戻ります。◀を何度かタップすると、地図に戻ります。



MEMO ナビの利用

「マップ」アプリには、「ナビ」機能が搭載されています。手順④に表示される＜ナビ開始＞をタップすると、「ナビ」が起動します。現在地から目的地までのルートを音声ガイダンス付きで案内してくれます。

周辺の施設を検索する

- ① P.103手順④を参考に現在地を表示し、検索ボックスをタップします。



- ② 探したい施設を入力し、🔍をタップします。



- ③ 該当するスポットが一覧で表示されます。上下にスライドして、気になるスポット名をタップします。

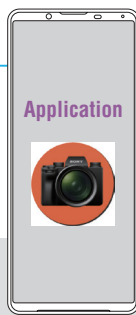


- ④ 選択した施設の情報が表示されます。上下にスライドすると、より詳細な情報を表示できます。



「Photo Pro」で 本格的な写真を撮影する

「Photo Pro」アプリは、ミラーレス一眼並みの機能を持っています。ベーシックモード以外の撮影モードに切り替ええると、本格的な写真を撮影することができます。



モードを切り替えて写真を撮影する

- 1 「Photo Pro」アプリを起動し、＜BASIC＞をタップします。



- 2 画面左のダイヤル部分を上下にスライドし、切り替えるモード（ここでは「AUTO」）に合わせます。



- 3 モードが切り替わります。本体のカメラキーを押すと撮影できます。なお、カメラキーを半押しするとピントを合わせられます。また、画面をピンチまたは音量キー／ズームキーを押すと、ズームの調整ができます。



押す

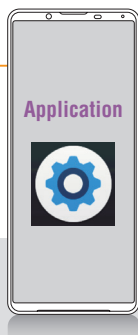
AUTO / P / S / Mモードの画面の見かた



1 撮影モード。Auto（オート）、P（プログラムオート）、S（シャッタースピード優先）、M（マニュアル露出）が選択できます。	12 ドライブモード。「連写」「セルフタイマー」などの撮影方法を指定できます。
2 設定メニューが表示されます。	13 フォーカスモード。オートフォーカスの種類や、マニュアルフォーカスを選択できます。
3 ヒストグラムと水準器が表示されます。	14 フォーカスエリア。ピント合わせの位置を変更できます。
4 レンズ切り替え。超広角（16mm）、広角（24mm）、望遠（70/150mm）が選択できます。	15 9で設定したEV値が表示されます。
5 直前に撮影した写真がサムネイルで表示されます。	16 ISO感度。ISO感度を設定できます。
6 空き容量と現在の解像度が表示されます。	17 測光モード。測光方法を変更できます。
7 バッテリーの容量が表示されます。	18 フラッシュモード。フラッシュの発光方法を設定できます。
8 現在の設定が表示されます。	19 ホワイトバランス。オート(AWB)/曇天/太陽光/蛍光灯/電球/日陰に加えて、カスタムホワイトバランスを3つ設定できます。
9 EVを左右にドラッグしてEV値を設定できます（Pモードの場合。モードによって異なる）。	20 顔検出/瞳AFのオン／オフが設定できます。
10 AFを有効にします。	21 LOCK。誤操作防止のために設定をロックできます。

スマートバックライトを設定する

スリープ状態になるまでの時間が短いと、突然スリープ状態になってしまって困ることがあります。スマートバックライトを設定して、手に持っている間はスリープ状態にならないようにしましょう。



スマートバックライトを利用する

- ① P.18を参考に「設定」アプリを起動し、＜画面設定＞→＜詳細設定＞の順にタップします。



- ② ＜スマートバックライト＞をタップします。



- ③ スマートバックライトの説明を確認し、☐をタップして、☒にする。と設定が完了します。本体を手に持っている間は、スリープ状態にならなくなります。



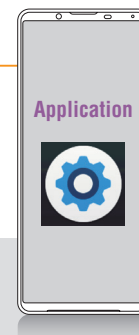
MEMO 画面の表示が消えるまでの時間の変更

スリープ状態になるまでの時間を変更するには、手順②の画面で＜画面消灯＞をタップし、設定したい時間をタップします。



ダークテーマを利用する

画面全体を黒を基調とした目に優しく、省電力にもなるダークテーマを利用することができます。ダークテーマに変更すると、対応するアプリもダークテーマになります。



ダークテーマに変更する

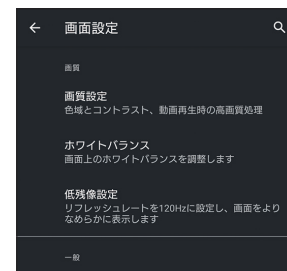
- ① P.18を参考に「設定」アプリを起動し、＜画面設定＞をタップします。



- ② ＜ダークテーマ＞の☒をタップします。



- ③ 画面全体が黒を基調とした色に変更されます。



MEMO スケジュール設定

手順②の画面で＜ダークモード＞をタップし、＜スケジュール＞をタップすると、指定した時間に自動的にダークモードになるようにスケジュール設定ができます。

